

第14回 主任級職員研修 の御案内

東北地方の地方公共団体には、人口減少、少子・高齢社会への対応やデジタル化の推進等の様々な課題への対応が求められており、若手職員も主体的・積極的に業務に取り組む必要があります。

この研修では、若手職員を対象に政策形成の基本に関する講義・演習、データ取得のツールのひとつである地域経済分析システム（RESAS）演習に加え、法的裏付けとなる政策法務、政策立案推進に必要なコミュニケーション・プレゼンテーション、地域経済活性化等の講義・演習・グループ研究（現地調査を含む。）を実施し、根拠に基づく政策立案（EBPM）のプロセスの習得を図ります。

1 目的

若手職員を対象に、根拠に基づく政策立案（EBPM）による政策形成能力の向上を図ります。

育成する人材の到達目標

- ① 根拠に基づく政策立案（EBPM）のプロセスの理解
- ② 政策法務の目的・効果及び条例立案の基本理解
- ③ 政策立案・推進に必要なコミュニケーション、プレゼンテーション技術の習得
- ④ 広い視野の獲得及びネットワークの構築

2 対象者・予定人数

受講時年齢：概ね25歳～34歳の職員 30人予定

※ 年齢は、派遣元自治体の推薦を尊重し、柔軟に対応します。

※ 「主任」とは「その任務を主として担当する人」の意味であり、実際の職位を表すものではありません。

3 実施期間・申込期限

令和8年6月22日(月)～7月17日(金)

申込期限：5月15日(金)

4 科目・時間・講師・概要 ⇒ 別紙「研修科目・講師名簿(予定)」のとおり

5 研修会場

公益財団法人 東北自治研修所（東北自治総合研修センター内）

〒981-3341 宮城県富谷市成田二丁目22-1（アクセスは、東北自治総合研修センターのホームページを参照してください。）

TEL：022-351-5771 FAX：022-351-5773

6 宿泊先

研修は、全寮制で行います。

宿泊先は、東北自治総合研修センター内の宿泊施設「青葉寮」（全室個室）です。週末は、外泊が可能です。

7 経費

(1) 研修受講料は、無料です。（東北6県の負担金により、実施しています。）

(2) 青葉寮（宿泊施設）利用負担金

利用負担金は、別途通知文書で御確認願います。※食事代は、別途必要です。

- ・ 研修終了後に発行する請求書により、貴機関から指定口座へ振り込み願います。
- ・ 前泊・後泊する場合は、4,100円/泊（夕食・朝食無し）を追加します。また、外泊する場合であっても、負担金は減額いたしません。

(3) センター内食堂での食事

- ・ 1週間を超える長期研修等以外の宿泊は給食制（夕・朝食含む宿泊）としていますが、主任級職員研修は長期研修のため、宿泊負担金と食事代を別に取り扱います。夕・朝食を希望する受講者は、受講決定時の案内に従い、所定の様式で申し込みください。昼食の事前申込は、不要です。

〈参考定食価格（税込）：朝食600円、昼食750円、夕食900円 詳細は、東北自治総合研修センターホームページを御覧ください。〉

(4) 準備物

- ① 書籍等：研修のテキストとして、事前に準備いただく書籍は、次のとおり予定していますが、受講決定時に改めてお知らせします。
 - ・ 「自治六法」又は「地方自治小六法」（できれば最新版） 出版社は問いません。
※講義及び自主学习用
- ② パソコン：マイクロソフトオフィス又は互換ソフト使用可、Wi-Fi接続可（IP設定は自動）のもの
- ③ その他：共済組合員証、寮生活に必要な日用品等。 詳細は、受講決定時にお知らせします。

(5) 現地調査経費

- ・ 現地調査の交通費として、数千円が必要となる場合があります。調査先は、グループで選定します。

8 開・閉講式

- (1) 開講式：令和8年6月22日（月）午後1時から ※正午までに、受付してください。
- (2) 閉講式：令和8年7月17日（金）正午から

9 施設の概要

- 研修棟：講堂1室、教室7室、演習室20室、図書室〔蔵書約6,000冊、パソコン(インターネット接続)・DVD〕、ラウンジ8室等 / Wi-Fi 対応
- 宿泊棟：宿泊室250室(うち身障者用3室)、娯楽室、談話室、大・中浴場(シャワールームあり)、食堂、売店、/ 有線LAN・Wi-Fi 対応
- 屋内外施設：体育館(バレーボール・卓球等)、テニスコート、駐車場(270台)

※詳細は、東北自治総合研修センターのホームページを御覧ください。

10 連絡先

公益財団法人 東北自治研修所

〔東北6県の自治体職員の資質・能力の向上を図るため、6県の出資により設立された法人です。〕

URL：http://www.thk-jc.or.jp/thk-index.htm TEL：022-351-5771 FAX：022-351-5773

担当：佐々木 E-mail：kensyu@thk-jc.or.jp

〔別 紙〕東北六県 主任級職員研修 研修科目・講師名簿

	科 目	時間	回	講 師	概 要
基本 科目 34h	コミュニケーション・ プレゼンテーション	7	2	(株)話し方研究所 講 師	〈講義、グループ演習〉 ・コミュニケーション及びプレゼンテーション能力向上に必要な理論と技法
	政策形成能力開発	14	4	(株)行政マネジメント研究所 講師 佐野 青子	〈講義、グループ演習〉 ・政策形成の基礎理解及び分析手法
	地域経済分析システム (RESAS)の活用	3	1	経済産業省東北経済産業局 総務企画部企画調査課職員	〈演習〉 ・地域経済分析システム(RESAS)の 基本操作、活用事例、演習
	地方自治法	10	3	白鷗大学法学部 教授 岩崎 忠	〈講義、グループ演習〉 ・地方分権一括法施行後の地方自治法 ・事例検討(演習)
演習 科目 85h	政策法務	31	10	横浜国立大学大学院国際社 会科学研究院 教授 板垣 勝彦	〈講義、グループ演習、発表・講評〉 ・政策法務の目的・効果 ・地方公共団体の自治立法権の理解 ・法制執務 ・課題事例研究演習 ・条例立案演習
	少子・高齢社会の政策 戦略	15	5	東北大学大学院経済学研究科 教授 同 高齢経済社会研究センター センター長 吉田 浩	〈講義、グループ演習、発表・講評〉 ・少子・高齢社会の現状及び自治体財政・ 政策に及ぼす影響 ・自治体の将来人口推計演習 ・福祉政策の人口・財政等への影響に関する 推計演習
	地域経済活性化	39	11	七十七リサーチ&コンサル ティング株式会社 調査研究部 研究顧問 大川口 信一	〈講義、グループ演習(現地調査含む)、 発表・講評〉 ・根拠に基づく政策立案(EBPM) のプロセス ・地域経済の効果分析・事業効果の 見える化 ・地域経済活性化をテーマにした政策立案 グループ演習
講 話 6h	東北まちづくりオフサ イトミーティング	3	1	山形市役所文化スポーツ部 次長(兼)文化創造都市課長 後藤 好邦	〈講話〉 ・自治体の枠を超えて、行政マンのネット ワークを構築、情報を共有し、研鑽を勉 める自身の活動
	住民協働による地域活 性化	3	1	(有)プランニング開 代表取締役 新田 新一郎	〈講話〉 ・住民協働により地域を活性化する手法等 に関する講師の豊富な体験談
他 9h	スピーチ演習ほか	4	15		スピーチ演習、事務連絡
	開講式、閉講式ほか	5	2		開講式、閉講式、オリエンテーション
	計	134	55		

第13回 主任級職員研修（令和7年度実施）受講者の感想より

【コミュニケーション・プレゼンテーション】

- ・限られた時間で効率よく情報を伝達する方法や、話す内容や構成次第で印象が異なることが分かり大変参考になりました。
- ・話し方や聴き方のコツを学び、グループで繰り返しプレゼンすることで、話すポイントを掴むことができました。

【政策形成能力開発】

- ・政策立案における論理的思考やプロセス政策を実行する上での実践的な知識と視点を深めることが出来ました。
- ・目的と目標といった言葉が似ているものの異なる定義であることを改めて理解し、一連のストーリーを考えた上で計画を立てていくことの大切さを学びました。

【地域経済分析システム(RESAS)の活用】

- ・今後の業務でもRESASを活用し、データに基づいた地域課題の抽出や政策提案を行っていきたいと思います。
- ・RESASの使い方を基礎から学び、その後のグループワークでも応用できる地域課題の「見える化」や根拠ある政策提案の土台を理化する良い機会となりました。

【地方自治法】

- ・地方分権改革の変遷や地方自治体の役割を学び、公務員の役割や業務の意義などを改めて考えさせられました。
- ・グループ演習中の助言や講評では、常に前向きなフィードバックを頂けたことで、安心感とやる気を得られました。

【政策法務】

- ・条例立案のプロセスや立法事実の整理、法令解釈の基本などを実践的に学ぶことができました。また、グループワークで行った条例立案の作成や論点整理では、柔軟な発想と多角的な視点が必要であると感ずることができました。

【少子・高齢社会の政策戦略】

- ・東北・全国のデータを比較して検討する内容が多く、自分の自治体がどのような立場に置かれているか、今後、何が必要になってくるのか、ということを俯瞰的に考えるきっかけとなり、とても有意義な講義でした。

【地域経済活性化】

- ・SWOT分析、経済波及効果の分析などを通じて、エビデンスに基づいた政策立案の手法を学ぶことができました。根拠を意識した考え方は、全ての業務に通じるものであるのととても有意義でした。
- ・地域経済の現状分析から政策を立案するまでのプロセスを理解することができた。具体的な根拠データの重要性やPEST分析やSWOT分析グループワークで理解を深めることができました。
- ・講義の内容は難しいものであったが、EBPMの流れやポイント、政策に必要なツールを学ぶことができ、大変有意義でした。